

志木市庁舎建設基本計画検討委員会 【 第 7 回 要旨記録 】

| | | |
|------|---|---|
| 開催日時 | 平成 26 年 2 月 17 日 (月) 午後 6 時 40 分～午後 9 時 20 分 | |
| 場 所 | 市役所 4 階 全員協議会室 | |
| 出席者 | 委 員 | 磯野委員、市之瀬委員、伊地知委員、大木委員、倉田委員長、近藤委員、斉藤委員、鈴木委員、谷合委員、野島委員、抜井委員、松下副委員長、村山委員 (欠席者 木下(武)委員、木下(正)委員、清水委員、高橋委員、濱岡委員) |
| | 志 木 市 | (事務局) 事務管理課 今野課長、真島主幹、宮原技師 建築耐震課 浅見課長、成田主幹 |
| | コンサルタント | 5 名 |
| | 傍 聴 者 | 7 名 |
| 配付資料 | 資料 1 志木市庁舎建設基本計画検討委員会【第 6 回 要旨記録】 資料 2 (参考資料) 第 6 回検討委員会議論の補足資料 資料 3 新庁舎の規模について(案) 資料 4 市庁舎と市民会館の複合化に関する検討 資料 5 敷地の比較検討 | |

1. 開会

- (1) 会議公開の承諾

2. 議事概要

(1) 本日の進め方

- ・委員長から、第 6 回次第に基づき本日の進め方について説明。

(2) 会議要旨記録の確認について

- ・事務局から、志木市庁舎建設基本計画検討委員会【第 6 回 会議要旨記録】(資料 1) に基づき説明、委員会の了解を得る。
- ・同会議要旨記録を市のホームページに掲載することについて、委員会の了解を得る。
- ・第 6 回検討委員会議論の補足資料(資料 2) について説明する。

(3) 資料の説明

- ・事務局から、第 6 回検討委員会議論の補足資料(資料 2)、現庁舎と市民会館の各敷地の公法上の規制について説明。
- ・コンサルから、市庁舎の規模について(案)(資料 3)、市庁舎と市民会館の複合化に関する検討(資料 4)、敷地の比較検討(資料 5) に基づき説明。

(4) (3) の意見交換、質疑

1) 市庁舎の規模について

◇市庁舎の規模に関すること

- ・前提条件の計画人口は現在の人口より少ないので、現時点の人口で検討しておく必要があるのではないか。
- ・市民病院廃止に伴い、職員が増加する予定はないのか。
- ・市庁舎の想定規模の 11,000 m² というのは、上限の面積か、ゆとりのある面積か。

- ・人口増加などで市が大きくなることに伴って行政サービスが増えていく見込みがあるなら、面積的なゆとりが必要となるであろう。ゆとりがないと分庁舎を周辺に設けることになり、何年か後に業務の効率上、再び新庁舎を考えるということもあるようだ。
- ・将来的に増える可能性のある書類等について、それを収納できるようにするゆとりや余裕もあると思う。
- ・1日の内に一定の時間しか使用しない部屋などがあるが、それらを全てつくるのではなく、時間を分けて利用すればいろいろな機能として使える。そういう重ね使いの工夫を行えば、面積のために機能を削る必要はない。また、重ね使いによってゆとりも生まれてくると思う。
- ・設計により当然面積は変動するが、おおよその目安は必要である。一つひとつ部屋の面積を積み上げると大きくなる可能性があるし、過剰な規模の設計となることも考えられるので、大枠の規模を設けておく必要があると思う。
- ・志木市は土地が狭く公共用地も少ないので、大きな面積は確保しにくい。業務上の効率は重要だと思うが、分庁舎にするのが望ましいと思う。
- ・市庁舎の想定規模は、市職員が仕事のしやすい環境となるような面積になっている必要があると思う。
- ・想定規模については、事例から算出した面積を確保している。先進地視察の印象として、特に狭くも広くも感じなかったのが、想定規模として妥当と考えられる。

※新庁舎の想定規模について、約 11,000 m²が妥当であると確認された。

◇駐車場に関すること

- ・現在ある議員用の駐車スペースは、先進地視察によりその必要性から設けられたものである。
- ・議員用の駐車場台数は、現状通り 6 台設ける必要がある。
- ・議会開催中は、議員用の駐車スペースを一般車用スペースに確保して欲しい。

<事務局>

- ⇒ ・前提条件の人口に関しては、将来人口として「第四次志木市総合振興計画」の計画人口を用いて行っている。
- ・今後の市街地形成の状況等を勘案すると、人口の極端な増加は見込まれないと推測される。現人口 72,813 人*であるが、駐車場・駐輪場の算定においては台数に影響のない範囲となっている。*)平成 25 年 10 月 1 日時点の住民基本台帳による。
- ・市民病院廃止に伴う市庁舎職員数は臨時職員等との調整により、現時点では大幅な増加を見込んでいない。
- ・市庁舎想定規模の 11,000 m²は、機能の重ね使い等によりコンパクト化の可能性があると考えているが、設計によって増減はあり得る。
- ⇒ ・駐車場台数については、現時点では概算のイメージであり確定ではないが、議員用の駐車場台数を現状通り 6 台確保するよう修正する。

<コンサル>

- ⇒ ・各算定方法から得られた市庁舎想定規模の 11,000 m²は、おおよその程度であれば、委員会で議論してきた市庁舎の機能を設けることができるという目安である。

2) 市庁舎と市民会館の複合化について

◇市民会館に関すること

- ・ 市民施設であるホールでは、観客数と同じくらいの出演者となることもある。そのため、楽屋として利用できる会議室棟を併設しないと運営が難しいと思う。
- ・ 複合化するなら、市庁舎と市民ホール、会議室棟を複合化する必要があると思う。
- ・ 音楽や演劇など、どのようなホールにするのか、席数など、検討する必要がある。それによって、ホールの規模が変わってくると思う。
- ・ 市民会館では、40年近く「四大学英語劇大会」が行われている。文化的な資源として継続できたらよいと思う。
- ・ 市庁舎は耐震的にも建替えが必要となっているが、ホールも同様に建替え計画はあるのか。

◇複合化による効果等に関すること

- ・ 複合化のメリットとして、工期を分けたとしても2件を建設するより1件を建設する方が工事費が圧縮され、建設後の運営のための人的費用や維持管理費も軽減されるなど経済効果は高いと思う。
- ・ 複合化することで、気軽に立ち寄れる、用事がなくても行こうと思える庁舎の実現が可能となると思う。特徴のある志木市らしい庁舎はできないかと言う点で見ても、複合化のメリットがあると思う。
- ・ 市民会館は重要な施設なので、これまでの志木市にない市庁舎と市民ホール、会議棟の複合施設が良いと思う。新しい志木らしさになれば良いと思う。
- ・ 幸町地区の市民の多くは、催しのある市民会館へは行くが、ほとんど市役所に行く機会がないと聞いている。複合化によって市役所に、人が集まりにぎわいがあり、憩えるような場所になるとよいと思う。

◇複合化によるまちづくりに関すること

- ・ 複合化することで、まちづくりの可能性がでてくると思う。これまで議論してきた、人が集まりやすく、シンボルとなる庁舎とするために複合化は有効だと思う。
- ・ 志木駅から市役所までの間の人の通行が非常に少ないと感じている。その起爆剤の一つとして複合化を検討するのも良いかと思う。
- ・ 資料2の長岡市庁舎は、アリーナを除けば現在検討している志木市の庁舎と似ている。長岡市の中心市街地は衰退していたが、新庁舎により人が戻り、にぎわいが出てきたという効果も報告されている。

◇複合化による課題等に関すること

- ・ 庁舎とホールを一体的に整備するなら、意義やヴィジョンというものがないと、複合化する意味が薄れてくると思う。市民が納得できるものをつくる必要があると思う。
- ・ 複合化が良いと思うが、震災復興事業やオリンピック招致に伴い建設費が高騰している。財源の確保が可能かという課題が考えられる。
- ・ 複合化が基本として良いと思うが、場所の問題としては、市庁舎、市民会館それぞれに向く場所、向かない場所というのものもあるように思う。複合化によって、敷地に余裕がなくなつては、良いものができるのか疑問が残る。
- ・ 現在、建物を建てるのに良い時期ではない。複合化については、建設費を含めて総合的に考える必要があると思う。

※課題はあるが、市庁舎と市民会館(ホール棟、会議棟)の複合化が妥当であることを確認した。

<事務局>

- ⇒ ・市庁舎と市民会館の複合化についての前回委員会の議論を受けて、本委員会で議論を行うことについて庁内の了解を得た。市は本委員会の意見を尊重し、前向きに検討する方針である。
- ⇒ ・市民会館は昭和54年、55年の2ヶ年で建設されており、昭和56年の耐震基準の建物ではない。耐震診断の結果、耐震性能が不足しており、建替えが必要と考えている。今年度一部工事を行っているが、老朽化も進んでいる。そのため、耐震補強をした場合、建替えと同程度の費用がかかるという試算がでている。市民会館の検討を行う場合には、耐震補強より建替えと言う議論になるのではないかと思うが、実際の計画は進んでいない。単独で考えるなら、市庁舎が終われば検討することが必要となる施設である。
- ⇒ ・建設工事費は、現在当初の1.5倍程度に増加している状況であり、慎重に推移を見守る必要があると考えている。

3) 市庁舎の場所について

◇現庁舎用地に関すること

- ・ 志木市は川で栄えたてきたまちと聞いている。市の歴史的背景を踏まえて現在につなげていく上で、現庁舎の場所が望ましいと思う。庁舎周辺には店もなく寂しくなっているので、志木駅や浦和方面からも人が集まることを希望している。
- ・ 現庁舎用地では、いろは親水公園や村山快哉堂などの資源と連携した、魅力的なまちづくりができると思う。また、県や市の施策で整備された貴重な資源を活用し、次の世代に受け継いで行けるようにすることは、市民にとって有意義なお金の使い方であると思う。
- ・ 現庁舎の屋上から見た眺望を素晴らしいと感じた。村山快哉堂など、このロケーションを活かすと良いと思う。志木駅から現庁舎までの人の動線をつくることによって、市場坂上も活気が出るのではないかと期待している。
- ・ 現庁舎用地に、土手からの車の侵入は可能か。可能なら、敷地をより有効に使えらると思う。
- ・ 現庁舎用地は周辺が道路や河川であるため、将来にわたって空地として担保できる利点がある。建物が大きくなっても、周辺を空地ととらえて考えられる。
- ・ ハザードマップで見れば、宗岡全体に浸水の可能性がある。今の技術を利用すれば、現庁舎の場所でも建設できると思う。
- ・ 福島では津波による浸水の危険性があるため、元の場所ではなく高台に建てようとしている。ハザードマップによると、市は現庁舎及び宗岡地域を浸水想定区域に指定している。市民から、市が指定した浸水の可能性がある区域になぜ市役所を建設するのかという意見がある。これらの意見に対して説明できるものが必要になると思う。
- ・ ハザードマップで指定されているという事実を受け止めて、その課題に対して、技術的に安全を確保できるか確認する必要があると思う。今後の課題として共通認識を持つ必要もあると思う。
- ・ ハザードマップで指定されているところは、建物が建てられない場所ではない。
- ・ 町田市庁舎は川沿いにあり、氾濫したら浸水することを前提に対策を施していた。どう考えて安全な庁舎をつくっていくかという問題だと思う。
- ・ 宗岡地区はハザードマップで2～5mの浸水が想定されているが、浸水想定区域だから市庁舎を建てられないという理由はないと思う。同じく浸水想定区域の宗岡地区はどうするのかという問題を感じる。むしろ、浸水した際に、防災の指令塔となる市庁舎が近くにあれば、安心して暮らせるランドマークともなろう。そういう位置付けも考慮して、庁舎の場所を考えて欲しい。宗岡地区の住民が安心して暮らせるようにして欲しい。庁舎が高台にないと心

配であるなら、一級河川の土手の強化などの防災対策を働きかける方が、市全体の安全性として重要なことだと思う。

- ・仮に現庁舎用地を選定した場合には、安全の問題を明確にして、場所・建物ともに安全な庁舎にすることを、今回の計画を通して説明して行く必要があると思う。さらに、設計段階でも十分な検討が必要である。最終的に完成したのも、保証できるものである必要があると思う。

◇市民会館用地に関すること

- ・新庁舎は複合化して、高台につくるべきだと考える。用地交渉など手を尽くしても、その結果できないのなら、市民会館用地で複合化できないことを納得できる。
- ・市民会館用地では駐車場の確保が難しいのではないか。また、小学校が隣接するので、自動車動線などとの兼ね合いで歩行者の安全性の確保が可能か、課題があると思う。
- ・市民会館用地は、周辺の将来的な建替えによって、周囲から見えなくなる可能性がある。敷地内からの開放感も得にくい。
- ・市民会館用地では、敷地を買い足しても建て混んだ印象は変わらないと思う。

<事務局>

- ⇒ ・土手を進入路として利用可能か調査する。

4) その他

◇資料4「市庁舎と市民会館の複合化に関する検討」及び資料5「敷地の比較検討」に関しては、前提条件となるものと、そうでないものを明確にして、わかりやすい資料とする。

※今回の指摘及び議論を踏まえて、資料4、資料5の修正を行う。

(5) 事務連絡

- ・第8回検討委員会の開催日時について

3月4日（火）18：30～20：30を予定しており、開催場所について後日案内を出す。

3. 閉会

以上